

事務事業名	保育所保育士確保対策事業費補助金	所属部	子ども政策局	所属課	子ども政策課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	教育・保育グループ	課長名	石飛 和宏
	施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	周藤 寛雅	電話番号	40-1044 (内線) 2251
	目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0~18歳) 意 図 A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	予 算 科 目	会 計 款 大 事 業 大 事 業 名 0:1:1:5:0:2 児童福祉総務管理事業 項 目 中 事 業 中 事 業 名 1:0:0:5:7:1 保育所保育士確保対策事業費補助金		
	基本事業	〈072〉子育てと仕事の両立支援 意 図 子育てと仕事を両立できる。				

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
公立委託保育所及び私立認可保育所	施設運営側の負担軽減を図り、要保育児童の受入れをスムーズにして、待機児童の減少を目指す。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H30 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	雲南市内にある公立委託保育所及び私立認可保育所が待機児童の解消を図るため、予め確保した保育士の雇用に要する経費に対し、補助金を交付する。 【補助基準等】・年度当初配置基準保育士の数が、前年度末配置基準保育士の数を下回った場合・補助期間は、当該児童が入所する月の前月までとし、6月以内とする。 ・補助金額は、基準額(180.7千円)×該当保育士数×月数×1/2 以内とする(R3～基準額を182.2千円)。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでのような改革改善をしているか?)
R3.7~R3.12 交付申請 R3.7~R3.12 交付決定通知 R4.3 実績報告 R4.3 確定通知	平成30年度 補助事業開始 令和2年度 補助基準額を会計年度任用職員単価とした。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 待機児童(10/1)	人	0	0	0	0
イ 年度初め入所児童	人	697	676	797	783
ウ 年度末入所児童	人	783	760	905	845
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
令和3年度補助実績額10,383千円	国庫支出金	千円				
【財源内訳】 県支出金:5,191円 (しまね結婚・子育て市町村交付金)	財源内訳 県支出金	千円	2,946	3,251	5,191	5,829
	地方債	千円				
	その他	千円	2,946			5,829
	一般財源	千円		3,251	5,192	
	事業費計	千円	5,892	6,502	10,383	11,658

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	余剰保育士の人件費は公定価格に反映されていないことから、年度中途の入所を見込んだ人材確保が資金面から困難であった部分が解消され、年度中途の児童受入が可能となり、仕事と子育ての両立に繋がりが、以て福祉の向上となった。
② 事業実施するうえでの課題	年度当初に保育士を雇用することが出来るため、不可欠の事業である。これにより待機児童抑制や年度途中入所に対応できている。 年々補助額が上昇しており、事業継続のため、継続して財源確保を行う必要がある。
③ 課題解決に向けた改革改善等	この事業により、保育士を確保することによって入所できる可能性が広がることから、保育ニーズに対応する充実が図られる。